

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

当たり前の中の真理がある 菅野 覚明 (東京大学大学院教授・曹洞宗の僧)

1. 武士道に関する書物を紐解くと、戦闘に関わるもの以外に、「道」全般に当てはまるものが数多く述べられています。例えば、北条早雲の「早雲寺廿一箇条」には平時の一日の暮らしについて、きちんと掃除をする、履き物を揃える、物は決められた場所に置く、大きな声であいさつといったごく当たり前のことが書かれています。よくよく考えたら、その当たり前の生活の中に真理があることを探求するのが、「道」というものではないでしょうか。
2. 自分の置かれた立場がどれほど厳しいものになろうと、余計な理屈をつけず、言い訳をせず当たり前のこととして黙々と受け入れていく。常に死という最悪の状態を念頭に置きつつ、一瞬一瞬を命賭けで生き抜いていく武士の姿勢。それはまた、いざという時に取り乱さず潔く死を迎えるための準備でもありました。
3. 死に向って、いまの一瞬一瞬を精一杯生き切る武士道の精神は、私たち現代人が忘れてしまっている人間としての基本を教えてくれているように思います。
(参考:「致知」2007年6月号)

ワンポイント経営アドバイス

組織はシンプルでわかりやすいこと

(P.F. ドラッカー)

1. 組織の構造とは、組織が目的を達成するための手段である。したがって構造に取り組むには、戦略から入らなければならない。業績が悪化すると、組織のせいにして、組織をいじり出す。組織改革なるものが多いが、この手のものである。ところがさしたる知恵もないために、どこかからモデルを借りてくる。しかし、組織づくりの最悪の間違いは、絵に描いたモデルを生きた組織に機械的に当てはめるところから生じる。
2. 「業績を自動的に上げる組織があるに違いない」、などという考えは捨てるべきだ。大事なものは、組織のなかの人間が、成果を上げやすくすることである。組織を変えるだけでは、問題の解決にはつながらない。組織の条件は、シンプルでわかりやすいことである。組織は、働く人たちの生産性を高めるための道具である。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2007年3月10日号)

経営者のための経済学

高級ブランドが名古屋に熱い視線

1. 海外高級ブランドの大型直営店といえば、東京・銀座と大坂・心斎橋の2ヶ所が定番だった。しかし今や多くのブランド関係者が「銀座と表参道、そして名古屋が重要拠点になりつつある」と話す。事実、近年、名古屋での大型直営店のオープンが続いている。
2. 名古屋の各ブランド店は東京に次いで売り上げを出している。2003年におけるアンケートでも、海外ブランドに年間10万円以上支出する人の割合が、名古屋地区は東京地区(38%)に次ぐ37%で、大坂地区の34%を上回る結果だった。大坂に比べ名古屋は活気があり期待が大きいのだ。

(参考:「日経ビジネス」2007年3月5日号)

古典に学ぶ

待てば晴

「需は雨天なり。待てば則ちはる。待たざれば則ち沾濡す」

(訳) 需の字は雨天の意。降る時は心静かに、待てば晴れるのに、待たないからすぶ濡れになる。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)